

第4回アドバイザーボード議論の要旨



開催日時：2023年11月9日（木） 15:00～18:00

会場：日本OTC医薬品協会 第一会議室 *はWeb参加 (五十音順・敬称略)

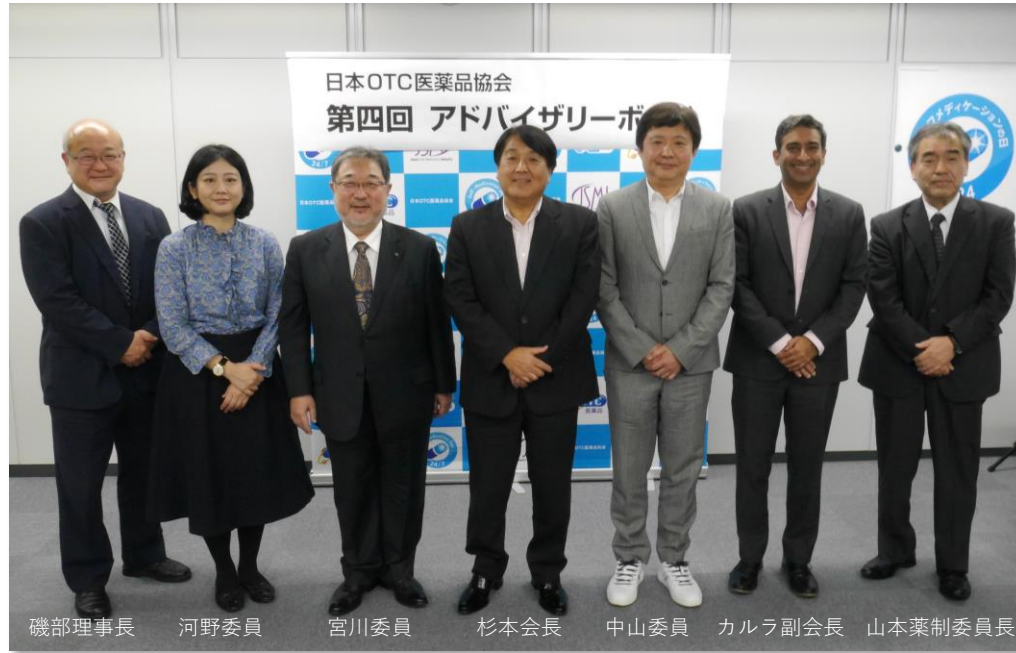
参加者：公益社団法人 日本歯科医師会 常務理事 *小野寺 哲夫
健康保険組合連合会 参 与 *幸野 庄司
株式会社日経BP日経DI編集 副編集長 河野 紀子
一般社団法人 日本チェーンドラッグストア 協会理事 *平野 健二
聖路加国際大学 教 授 中山 和弘
公益社団法人 日本医師会 常任理事 宮川 政昭
認定NPO法人 ささえあい医療人権センターCOML 理事長 *山口 育子
日本OTC医薬品協会 杉本会長、*伊部副会長、カルラ副会長、*掬川副会長
*佐藤副会長、*柴田副会長、磯部理事長 他

議 題：

1. 主催者挨拶 日本OTC医薬品協会 杉本会長
2. ヘルスリテラシー講演 聖路加国際大学 中山教授
3. 健康教育支援とその環境整備に向けて 久米健康教育プロジェクトリーダー（ライオン）
4. 政策立案に資するレセプト分析に関する調査研究VI
健康保険組合連合会 幸野参与
5. 生活者にむけた新たなOTC医薬品活用の方策
日本OTC医薬品協会 山本薬制委員長（第一三共HC）、渡邊新規領域推進検討部会長（小林製薬）

講演と当協会からの説明は「別添資料」参照。4と5の議題は提案資料のみ掲載。

第4回アドバイザリーボード会場参加者と議論の様子



1. 主催者挨拶 日本OTC医薬品協会 会長 杉本 雅史



前回は、生産者年齢人口の急激な減少と65歳以上の高齢者人口がピークを迎える2040年を見据え、医療提供体制と国民皆保険制度を将来にわたり持続可能なものとするために、OTC医薬品がどのように貢献できるか？といったことを考え、「生活者にむけた新たなOTC医薬品活用の方策」についてのご提案をさせていただきました。

医師の管理下で状態が安定している慢性疾患患者、特に高血圧治療薬に着目し、OTC医薬品を提供する可能性については、先生方からも大変多くのご意見を頂いた。まだまだ課題は多く、我々も今後のOTC医薬品のありかたについて引き続きアドバイザリーボードの先生方とも議論を深めていきたい。

また、「医薬品の販売制度に関する検討会」においては、医薬品の販売区分の見直しをはじめ、デジタル技術を活用した店舗販売業の在り方や処方箋医薬品以外の医療用医薬品の販売など、多岐に渡り議論されているところであり、特に最近マスコミにも広く取り上げられている、濫用等の恐れのあるOTC医薬品については、販売規制が検討されている。我々、日本OTC医薬品協会（以下、OTC薬協）としては、濫用の実態に応じた防止対策の充実・強化を目指す必要があると考えており、適正に使用している多くの生活者のアクセスも考慮する必要があると考えている。一方で、供給側だけではなく、OTC医薬品を使用する生活者のヘルスリテラシーの向上も大きな課題である。

本日は、そういったOTC医薬品の濫用問題等も念頭において、生活者の皆様のヘルスリテラシー向上を支援するために、どのように取り組んでいったらよいのか？様々なステークホルダーと連携して進めていけることは何か？といったことから「ヘルスリテラシー向上～健康教育支援とその環境整備に向けて～」といったテーマについて、先生方より様々な視点からのご意見を頂戴し、ディスカッションをお願いしたい。

2. ヘルスリテラシー講演 聖路加国際大学 教授 中山 和弘

講演内容は「別添資料1」参照

【講演の要旨】

- ・日本人のヘルスリテラシーで不足する力とそのサポート方法について。
- ・リテラシーとはだれもが持つべき力＝人権であり、ヘルスリテラシーは情報に基づき意思決定ができる力＝健康を決める力である。
- ・入手、理解、評価、意思決定のうち、特に入手、評価、意思決定のスコアが低く、それらの理由を示す。
- ・自分で判断して決定できれば、より幸せな人生を送ることができる、だからリテラシーの高い国では学校教育の中でこの習慣を身につけている。
- ・情報の評価方法は「かちもない」、意思決定のスキルは「おちたか」と覚えて欲しい。これらのスキルを学ぶ機会が日本の学校教育ではほぼないため、その機会提供が必要である。
- ・健康情報の提供者はわかりやすい情報をつくり、ティーチバックを使い、協働的意思決定（シェアードディジジョンメイキング）を用いれば、人々は情報に基づく意思決定（informed decisions）ができるようになる。ヘルスリテラシー向上は、受け手側だけでなく、情報提供者側の工夫が大切になる。
- ・生活者や患者と専門家が協働して意思決定できる力を学びあう場ができないだろうか、このつながりと場がまた情報源となり、良いループとなっていく。



聖路加国際大学 中山教授

【意見・質疑応答の要旨】

写真と発言内容は
直接関係ありません

- ・情報は単に量を出すのではなく、枠組みやツールを提供することの必要性を教えられた。

【OTC薬協 カルラ副会長】

- ・我々、OTC薬協として着手しているOTC医薬品のプラットフォームづくりがあるが、一番手前の入手の支援、とっかかりとしては間違えていないのだろう。

【OTC薬協 杉本会長】

⇒選択肢があるという情報の提供、各々の長所短所、選び方などを示し、それが「おちたか」に繋がる、決められる情報を示すことが重要である。

- ・意思決定が自己責任を負わせたと思われてしまわないだろうか。

⇒専門家の判断や入手した情報に従うか従わないかの判断や、他にも選択肢があることを知る場がない。元々意思決定を前提としていないので、意思決定をすることが幸せであると提案している。専門家任せではなく、それ以外の決め方、選択肢を増やし、自分で決める力を養うことが必要である。



河野委員

- ・ヘルスリテラシーは幼少期から学ぶべきことであるが、それができていない大人に対し、どうするのか、そこには伴走が必要だが、情報サイトはめちゃくちゃだし、正しい情報サイトに行けばよいことさえ知らない人がいる。これらの現状と小さな頃からやるべきことは分けて考えていくべきである。

- ・自分自身が何ものなのか理解することが一般の方には難しい。重篤な疾病の場合ドクターの診断があり、そこから選択肢が始まるが、OTC医薬品の場合は軽度な症状であり、そこで判断ができない方が多い。どの情報を取りに行けばよいのか、そこでつまづいてしまうのが多くのOTC医薬品購入者ではないだろうか。

⇒情報サイトなどでは、症状から選択していけば薬や受診先がでてくるものもある。また登録しておけば日常的な情報提供が送付されるサイトもある。待っていてもだめでその人が必要としているであろう情報をヘルスマーケティングなどで分析し、提供することも必要。

- ・診断とは違う。意思決定はその前の判断であるため診断を持ち出してはダメ。

⇒薬の選択や受診勧奨も含め、選択肢を与え、意思決定の仕方を学ぶ場にはならないだろうかと考えている。

- ・意思決定の仕方を学ぶのだろう。



宮川委員

* 青字表記：中山教授コメント

3. 健康教育支援とその環境整備に向けて 久米裕康 健康教育プロジェクトリーダー

【提案の要旨】

提案内容は「別添資料2」参照

- ・学校教育の課題として、健康三原則や薬物乱用防止教育は実施されているが、定着率は低く市販薬（OTC医薬品）の濫用問題の解決には至っていない。
- ・ひとりの薬剤師から始まったK市でのくすり教育の成功例が解決策にならないかと考えている。
- ・取り組みの考え方、直近のOTC薬協の取り組み、各ステークホルダーへのヒアリング結果を共有する。
- ・学校教育の課題把握、OTC薬協としての貢献のあり方、関係団体との連携についてご意見を頂きたい。

【意見・質疑応答の要旨】

留意事項：以下は全て議論の要約であり、承認・決定したものではありません

- ・リテラシーに関してOTC薬協が各団体と連携をしながら歩みだしたことは大変ありがたいことである。一緒に補完しながらやっていくことが大切。一人の薬剤師からの努力の事例から、意識なき加害者になっていることを薬剤師・登販者はしっかり知っていただき、学校教育に落とし込んでほしい。そしてそこが正しい情報源であると教えてあげてほしい。OTC薬協が起点となり、学校に気付かせるべきである。
- ・学校を通じた活動はこのような事例が大切であるが、学校以外で向上させる場はないのだろうか。例えば、その場として母と子供と一緒に学ぶ教材などをドラッグストアのアプリで提供することもできる。また情報は受け手が取りたいタイミングで提供することが重要であり、その中に適正使用や濫用防止などをちりばめていくというアプローチもあり、そういったことを一緒にやっていけないか。

⇒OTC薬協としてやるべきことが明確になってきた反面、できないことも浮き彫りになった。他団体との連携を具体的に構想していきたい。まずは学校保健委員会に対しアプローチをしたいと考える。

- ・学校では新しいことはなかなかできないが、理解ある養護教諭や校長などを見つけアプローチをすればやってくれる。各地の学校保健会といった組織を活用することも有用である。

* 青字表記：OTC薬協 久米PJリーダー

別添資料

1. ヘルスリテラシー講演
2. 健康教育支援とその環境整備に向けて
3. 政策立案に資するレセプト分析に関する調査研究VI
4. 生活者にむけた新たなOTC医薬品活用の方策

留意事項：別添資料は全て説明用でアドバイザリーボード
で承認・決定したものではありません